

(様式第1号)(第2条16号関係)

別紙

## 福祉サービス第三者評価の結果

### 1 評価機関

名称：しなの福祉教育総研	所在地：長野県上田市上田 180-6
評価実施期間： 令和5年9月6日から令和6年1月20日 *契約日から評価結果の確定日（通常、評価結果報告会日）まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） ・050431      ・B18051      ・B2020073	

### 2 福祉サービス事業者情報（R5年 10月現在）

事業所名：長和町立和田保育園 (施設名)	種別：保育所				
代表者氏名：長和町長 羽田健一郎 (管理者氏名) 園長 高木由美	定員(利用人数)：60名(現員11名)				
設置主体：長和町 経営主体：長和町	開設(指定)年月日： 昭和39年 4月 1日				
所在地：〒386-0701 長野県小県郡長和町和田 1792 番地					
電話番号：0268-88-2113	FAX番号：0268-88-2166				
電子メールアドレス：wada-hoiku@town.nagawa.nagano.jp					
ホームページアドレス：http://town.nagawa.nagano.jp					
職員数	常勤職員：8名	非常勤職員	4名		
専門職員	(園長) 1名				
	(主任) 1名				
	(保育士) 3名				
	(調理員) 2名				
	(保育キーパー) 1名				
施設・設備の概要	(居室数等)	(設備等)			
	保育室 (3)	トイレ (2)			
	乳児室・ほふく室 (1)	図書室 (1)			
	調理室 (1)	(野外遊具)			
	事務室 (1)	砂場・ブランコ・滑り台・クライミングジム			
	遊戯室・ホール	鉄棒・ジャングルジム・			
園庭 (1)	スプリング遊具				
保育時間	通常開始時間		時間外(延長) 開所時間		
	保育時間	保育標準時間	保育短時間	保育標準時間	
	平日	8:15~16:30	7:30~18:30	7:30~8:15 16:15~19:15	18:30~19:15
	土曜日	8:15~16:30	7:30~18:30	7:30~8:15 16:15~18:30	
	休業日	年末年始・日曜・祝日			

### 3 理念・基本方針

#### 【長和町 理念】

長和町教育大綱 ～豊かな人間性を育む、ふるさとを誇れる教育～

- (1) 健やかで明るい子どもの育成
- (2) 遊びや様々な体験を通して生きる力の基礎の育成
- (3) 自分も友達も大切にできる子どもの育成

#### 【長和町 基本方針】

- (1) 健康で明るい子ども
- (2) 情緒が安定した豊かな子
- (3) 仲良く活動し、楽しむ子
- (4) 意欲的に取り組み、やり抜く子
- (5) よく見、よく聞き、よく考える子
- (6) あいさつ・返事がしっかりできる子

#### 【和田保育園 理念】

- (1) 子どもの最善の利益を考慮し、現在を良く生き、望ましい未来と生きる力の基礎を養います。
- (2) 人間性を育む乳幼児期を通し、基本的な生活習慣や社会性、豊かな情操を培い、心豊かな子どもの育成に努めます。

#### 【和田保育園 目標】

＜和田の子は、明るく、仲良く、元気よく、みんなで楽しい保育園に＞

- 健やかで明るい子ども
- 自分も友だちも大切に作る子ども
- 夢中になって遊べる子ども

### 4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

#### 【長和町の特徴】

和田保育園のある長和町は、平成の大合併により、平成17年10月、旧長和町と旧和田村が、合併して誕生しました。人口約6,000人(約2,400世帯)で水田と山林に囲まれた自然豊かな地です。歴史的には旧石器時代の黒曜石の産地として全国的にも知られ、江戸時代には旧中山道の長久保宿、和田宿として栄えていました。現在も諏訪市へ抜ける和田トンネルの麓に位置して主要な交通網の重要な地となっています。平成28年「第2次長和町長期総合計画」を策定し(森のささやき 清らかな流れ 悠久の歴史 未来へ耀く 美しの郷)を基に、3つの基本理念、4つの基本目標、6つの基本施策により構成される基本構想を策定し、長和に住むすべての住民が明るく元気に暮らせる町づくりを進めています。

#### 【子育て支援・保育・学校教育の特徴】

「次代を担う子ども達は地域の宝」「子ども達をすくすく伸びやかに、地域ぐるみで守り育てる」をモットーとし、教育・保育・福祉の枠を超えた子育て支援を進めています。町づくりの基本目標として、目標3にある【結婚・妊娠・出産・育児・子育てを切れ目なく支援する環境を整え、子育てしたくなるまち】により、就園前から保健師から園への情報共有があり、就園後も保健師、臨床発達心理士や専門機関との連携を

取り合いながら保育を行っています。就学しても高校卒業時までは町の関係機関との情報共有会議が行われています。

#### 【和田保育園の特徴】

和田保育園は昭和 39 年 4 月に旧和田村に初めての公立保育園として定員 90 名で開設されました。その後、平成元年に現在地に定員 90 名の新園舎が完成し移転しました。平成 12 年には未満児室の増改築、平成 13 年に保育キーパーの導入により保育の充実を図ってきました。平成 17 年に旧長門町と合併し、長和町和田保育園となりました。

現在の園舎は、近くに和田小学校や長和町和田庁舎、和田本陣などあり、旧和田村の中心地に位置しています。建物は設置 35 年以上経過していますが地元のカラマツ材がふんだんに使用されていて、木材の柔らかさ・ぬくもりが伝わり、過ごしやすい落ち着いた空間となっています。また、自然の起伏を活かした広々とした園庭には、上下にある園庭をつなぐ長い滑り台があり、遊びが活発になると滑り台横の斜面を上り下りしたり、寝転んで転がったりするうちに自然に体幹や足腰が鍛えられます。夏にはこの斜面で“ウォーターライダー”冬には“そり遊び”ができる等、季節ごとの楽しみがあり、園児達は一年を通して楽しく活動できる場となっています。

### 5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	2 回（平成 30 年度）
---------------	---------------

### 6 評価結果総評（利用者調査結果を含む）

#### ◇特に良いと思う点

##### ○子ども達一人ひとりの個性と主体性を尊重した保育の実践がされていました。

和田保育園は現在、利用園児が 11 名という小規模保育園のため、保育士は子ども達一人ひとり向き合いきめ細やかな対応ができる体制になっていました。保育全体の保育スキルも高く、日々の保育の中で子ども達の気持ちを受け止め、その思いを大切にし、子ども達の個性や主体性を伸ばすための保育が実践されていました。

##### ○地域の人たち皆で支える子育て（保育）支援が行われています。

和田地域では平成 21 年より、保育園、小学校、家庭、地域が連携して、子育て支援を行っていくため「和田学校コミュニティー（和田学校運営協議会・和田学校支援地域本部）」ができています。和田保育園もその中で各関係機関や地域住民の皆さんと連携し、保育を行っていく体制が確立されています。また「和田学校コミュニティー通信」を年 4 回発行し地域に配布し、理解を深める活動も行われていました。

##### ○豊かな支援の中で子ども達が育むことができる保育活動が行われています。

和田保育園を取り巻く自然環境は、四季折々に変化する山々、広々とした田園地帯心地よく吹き抜ける風のながれ等、豊かな恵みの中で子ども達は育っています。保育園では日々の保育活動をごく普通に自然と親しみながら行っています。このような環境で育った和田保育園の子ども達は「優しさ、思いやりを持った素直な子ども達」とあると地域からも認められています。

##### ○外部講師による様々な体験を取り入れた保育の実践がされています。

運動保育士による年 5 回の「運動遊び」を通して子どもの体力向上や運動機能の向上に努めています。また、外国語講師による英会話や外国の文化を知る「AET」と

いう機会を年 10 回設けています。(年長児)

地域の文化施設を利用した「土粘土体験」や卒園証書になる「紙すき体験」、クリスマスの「サンタローソク作り」を行っています。(年長児)

和田学校運営協議会・地域支援部の協力により、年末には「しめ縄作り」をしています。(年長児) また、運動会前の園庭の環境整備やクリスマス会や節分の豆まきには支援部の方が手伝いで“サンタさん”や“鬼”を担当しています。地域の方々に見守られながら協力を得て、保育を行っています。

#### ○すばらしい保育環境の中で保育の実践が行われています。

保育園は少し高台の南斜面に建物があり、日当たりがとても良く、起伏を利用した園庭は木々に囲まれ、自然の中で子ども達がのびのびと活動できる広さが確保されていました。また、各保育室や廊下も広々としていて、活動スペースも十分に取れる広さがあり、年齢やクラスに関係なくどの子も興味を持ったやりたい遊びを一緒にできる豊富な保育材料が用意され、遊びのコーナーのようになっていました。異年齢で食事ができる部屋も確保されていました。

建物は築 35 年以上が経過していますが、地元のカラマツ材を使用した木造建築で、掃除や手入れが行き届いた心地よい、ぬくもりのある空間となっていました。

#### ◇特に改善する必要があると思う点

##### ○保育園利用園児減少への対応について

長和町は若者や子育て世帯が進学や就職等により町外への流出もあり、少子高齢化が進んでいます。この現状により特に和田地区の保育園や小学校存続に危機感があります。和田保育園は今年度総数 11 名と、年々園児数が減少しています。少人数になりゆったりとした関わりや広々としてスペースの活用ができる等の利点もありますが、保育園の経営、運営面そのものにも大きく関わってくると考えられます。また〈子どもの集団としての育ちや遊びの幅が広がらない〉〈きめ細やかな保育が可能だが自立心や自主性の育ちの保障は〉等課題もあります。保育園独自でできること、行政として対処することを整理して、今後の具体的な少子化対策事業や保育サービスの充実を図っていくことを期待します。

##### ○職員研修・講習へのさらなる向上の取り組みを期待します。

各種の外部研修会へは、職員をやり繰りし積極的に参加していることが確認できました。園内研修については、職員数のこともあり今年度は定期的に行っていません。和田保育園としての少人数、異年齢保育の特徴ある保育の確立を全職員の協力により実現されることを期待します。

## 7 事業評価の結果（詳細）と講評

- ・ 共通評価項目(別添 1)
- ・ 内容評価項目(別添 2)

## 8 利用者調査の結果

アンケート方式(別添 3-1)

## 9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント(別添 4)